

第 48 回わたぼうし音楽祭 「作詩・作曲の部」 入選作品一覧

イイカゲン人生

作詩：富谷 和馬(岡山県高梁市・61 歳)

作曲：加藤 哲宣(島根県安来市・64 歳)

フリフリCP 60 年

山あり谷あり出会いあり

生き場所もさまざま変わったけど

オイラ 根っから意地っ張り

風を起こして 人を奮わせ 空気を動かし

我が路を歩いてきた

昇って 降(くだ)って また昇り

ちょうどイイカゲン イイカゲン人生

残り時間は少ないけど

笑って 怒って 泣いて

のんびり 楽しみ 進んでいくぜ

ユラユラCP アテトーゼ

頸椎歪んで 気力 ZERO

いくつもの恥辱も浴びせられて

リスク高めオベを受け

熱と出会って 我(われ)を奮わせ 前への想いが

僅かに蘇った

転んで ドンマイ また起きて

これもイイカゲン イイカゲン人生

おしめ離れができないけど

笑って 怒って 泣いて

のんびり 我が路 進んでいくぜ

グラグラCP 60 年

いい時 わるい日 巡りゆき

瞬間の言葉を発しながら

オイラ 手渡した気だが

風を起こして 人を奮わせ 世間が動くにや

まだまだ足りねえな

浮かんで 沈んで また浮いて

ちょうどイイカゲン イイカゲン人生

残り時間は少ないけど 怒って宥(なだ)めて諭し

我が身の生き様 晒(さら)した言葉

リミット来るまで 遺していくぜ

紅色(くれないいろ)の花

作詩：福原 立春香(福井市・21 歳)

作曲：長谷川 恵美(奈良市・49 歳)

本当の絆が生まれた日

私をはじめで強くなれた

遠くのあなたを思った日

私の心は満たされた

去りゆく人も 消えゆく物も

すべては心で生きている

無限に輝きを放つ種は

いつか美しい花になる

愛と希望の光を浴びて開く

新しい朝へ続く花

喜びに満ちたこの心を乗せて

今あなたに届けたい

自分の弱さを認めた日

私はきっと報われる

素直な気持ちと謙虚さは

未来の扉の鍵になる

過ぎゆく昨日も まだ見ぬ明日も

すべては心の中にある

無限の可能性を秘めたつぼみは

やがて美しく花開く

時には涙で体潤し育つ

新しい種を結ぶ花

感謝に満ちたこの思いを乗せて

今あなたに届けたい

スマッシュをあなたに

作詩・作曲：佐藤利枝子(宮城県仙台市・60 歳)

弾むボールに ラケット当てれば

ウキウキしちゃう 心も弾む

どこに飛ぶのか 行方の知れず

そうよ あなたに届くのでしょう

アイ・マスクしても ボールが教える

聞こえるボールに 私がこたえる

飛んでけ ボールよ あなたのもとに

飛んでく ボールに 願いをこめて

サービス・エースが 私の得意

ボレーやスマッシュ 練習中よ

どんなに強い ボールが来ても

私は返すわ 願いをこめて

アイ・マスクしても ボールが教える

これが私の テニスのスタンス

飛んでけ ボールよ あなたのもとに

飛んでく ボールに 願いをこめて

アイ・マスクしても ボールが教える

これが私の テニスのスタンス

飛んでけ ボールよ あなたのもとに

飛んでく ボールに 願いをこめて

飛んでけ ボールよ あなたのもとに

飛んでく ボールに 願いをこめて

ちいさいわたしへ

作詩・作曲：鈴木 美緒(兵庫県神戸市・17 歳)

ちいさい わたしは

「なんで見えないんだ みんなは見えてて

ぶつからずに走れるのがずるい」

「なんで見えないんだ みんなは声がなくとも

表情が見えてずるい」

って思ってたよね

ちいさいわたしへ

これから いろいろなことに出会うよ

楽しいこと うれしいこと

タンDEM自転車に乗れるよ

風が気持ちいいよ

さわる練習をいっぱいして魔法の手になるよ

点字も読めるよ

本がたくさん読めるようになるよ

自分で物語が書けるよ

すぐく自分の世界が広がるよ

わくわくするよ

誰の声かすぐにわかるようになるよ

友達ができるよ

手先が器用になるよ

ビーズでアクセサリーを作れるようになるよ

頭の中に地図が描けるようになるよ

白杖で歩けるようになるよ

誰かの手を借りれば

できることもあるよ

見えていても見えなくても

わたしにしかできないこともあるし

もしかしたらすごい才能が

眠っているかもしれない

あきらめたら もう進めないけど

あきらめなかったら

自分の道が 開けるかもしれない

ちいさいわたしへ

だから 元気に前を向いて歩いて行こう

第 48 回わたぼうし音楽祭 「作詩・作曲の部」入選作品一覧

ちいさなて  
作詩:古賀 清美(熊本市・60 歳)  
作曲:カツキコウイチ(神奈川県平塚市・61 歳)

ママの手をつないで 歩いてくれた  
ちいさなてのひらの あたたかさ  
今も心をつないでいます

わがママも言えずに 丸めたハンカチ  
ポッケのなかで にぎりしめた

今もきこえる あなたがよぶ声

ママの手をつないで 歩いてくれた  
ちいさなてのひらの あたたかさ  
今も心をつないでいます

甘えることもできずに ひとりねむった  
枕のうえに 涙こぼれ

今もきこえる あなたがよぶ声

ママの手をつないで 歩いてくれた  
ちいさなてのひらの あたたかさ  
今も心をつないでいます

だきしめてほしくて ちょっぴりすねたり  
机のすみに きずをつけた

今もきこえる あなたがよぶ声

ママの手をつないで 歩いてくれた  
ちいさなてのひらの あたたかさ  
今も心をつないでいます

今もきこえる あなたがよぶ声

「ありがとう」を今 あなたに

ふしぎなまほう  
作詩:あん(滋賀県彦根市・22 歳)  
作曲:小林昭雄(千葉県松戸市・70 歳)

あんぱんひとつ ありました  
ぼくもきみも おなかぺこぺこ  
ぜんぶたべたい ふたりとも  
けんかして かなしくなった

おなかも ペこペこ  
なんで たべたのに  
こころも ペこペこ  
きみがいない からっぽ

どうしたら よかったの  
きみもぼくも しあわせなみち  
あんぱんかって きみのおうち  
ごめんねって むかおうか

あんぱんひとつ ありました  
ぼくがとって きみはないてる  
まだたべたい ふたりとも  
なかなかおり したいっていった

おなかも ペこペこ  
はんぶんこ どうぞ  
きもちも ペこペこ  
きみがいる みちてゆく

いっしょにね おいしいねって  
たべるからこれは こんなに  
しあわせあじに おもえるんだ  
ひとりじめは しょっぱいね

わけっこって へっちゃやうようで  
しあわせが いっぱいうまれる  
うれしいきもち ばいになる  
わけっこは ふしぎなまほう

僕らが諦めたのは、  
作詩・作曲:奥田実里  
(滋賀県近江八幡市・18 歳)

いつも通りの朝 いつもの始発電車  
いつも通りの日が いつも通りやってきた  
いつも恐れていた 何かに怯えていた  
知らず知らず僕らは 変化を拒んでいた

僕らはなぜ生きるのか どう生きるのか  
答えを探す暇もない  
考える時間も 余裕も知力も  
持ち合わせていない  
考えなくても 誰かに合わせて  
生きれば問題ない  
だから それ故にきつと

すべてを諦めて 僕らは生きている  
言いたかったことも 聞きたかったことも  
すべてを諦めて 大人になっていく  
言えなかったことも 聞けなかったことも

いつも前を向いていた 未来を見ていた  
あの頃の僕らは 大人になりたかった  
いつか忘れてしまった 昔夢に見た姿  
いつのまにか僕らは 前を向かなくなった

僕らは誰のために  
何のために何をして 生きたいのか  
考えなくても  
僕らは間違いなく生きていける  
だから それ故にきつと

すべてを諦めて 僕らは忘れていく  
子供の頃の夢 好きな人の名前  
すべてを諦めて いつでも笑ってる  
このままでいいやって 目を瞑ったままで

しょうがない しょうがない しょうがない  
何度も何度も繰り返し  
ああじゃない こうじゃない そうじゃない  
何度も何度もやり直し

みんながいる  
作詩:近藤 己順(大阪府羽曳野市・40 歳)  
作曲:上條 直子(東京都大田区・41 歳)

生きづらくてうまくいかない日々だった  
見様見真似の作り笑顔で悲しみを隠した  
何度も逃げてしまいそうになった  
でもそんな日々はやめたのだ

諦めなかった叫び続けた  
不器用なままの私を認めてと  
わかってくれる人が一人  
また一人と増えていった  
この世は捨てたものじゃない  
未来は明るい

人とうまくやれなくて  
トラブルばかりで  
誰もかれもが嫌いになりそうだった  
扉を閉めそうにもなった

でも私はひとりぼっちを選ばなかった  
できる限り努力して歩み寄った  
そばにいてくれる人が一人  
また一人と増えていった  
優しい人も必ずいる  
素晴らしい世界

私はいつも頑張ってきた  
努力して声をあげて結果がついてきた  
私の側にいてくれる全ての人へ  
お礼を言うよ  
本当に本当にありがとう  
私は幸せ者です